

3 主なご意見と学校の見解等

①学校行事に関すること

<体育的行事について>

- ・コロナ前に比べてスポーツ系の行事（運動会や長距離走）を軽い内容のままにしている。スポーツフェスティバルはレクレーションの位置付けに見えるため、長距離走を行うイベントを行うべきでは？
- ・運動会は半日で終わるため一見いいように思えるが、参加競技が少なく子供自身が学年が上がるごとに物足りなくなるのではないかと感じている。
- ・持久走や縄跳びなど体力作りとなる活動がなくなっていく傾向を感じています。部活動もなくなり、学校の時間外で運動などをしていない子を除けば、全体的に運動不足気味な子どもが増えている気がします。学習面も含めて、中学校に入ってから、全体的に他校からくる子どもたちと比べて活躍の場が少なくなっている様に感じます。
- ・近隣の小学校と同様にマラソン大会、持久走の練習を酒井根東小でも取り入れて欲しいと思っています
- ・体力低下が気になる。持久走大会が復活しないのなら、授業で持久走を増やしたり、持久走大会があった時のように、休み時間にも走りたくなるような取り組みをしてほしい。
- ・東っ子スポーツフェスティバルは非常に良い取り組みだと思いました！是非続けて下さい！

【学校の見解等】

コロナ禍の後、全国の小学校において持久走大会のあり方について見直しがされました。一番の大きな要因は、令和2年度から完全実施されている新学習指導要領において、体育に関する目標が大きく見直されたことです。主な内容は、
低学年（1・2年）：2～3分程度。自分のペースで走る楽しさを知る。
中学年（3・4年）：3～4分程度。呼吸のペースなど、自分に合った無理のない速さを覚える。
高学年（5・6年）：5～6分程度。自分の体力に応じたペースで一定時間走れるようになる。
となっています。いずれも、「**自分のペース」「自分に合った無理のない速さ**」など、**旧来の体力向上とは違った趣旨の目標に変わっています**。このことを受け、本校では、持久走大会のあり方を見直し、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を向上させるために、東っ子スポーツフェスティバルとして体育的行事を行っています。
また、「東っ子スポーツフェスティバル」は、6年生が総合的な学習の時間を通して競技内容を考え、準備や進行に大きく関わっていく行事です。子どもたちが準備や進行に大きく関わっていく行事です。教育活動を通じて、子どもたちが自ら考え行動するという主体性を育てる機会となっていることをご承知おさください。

<授業参観について>

- ・学校の通常行事を良く知らないのだから分かりませんが、授業参観が多いのかな？と思いました。しかし、仕事で逃してしまった場合の受け皿にもなりますし、親子だけでなく、子供達と保護者が顔見知りや身近な感じになると、助けが欲しい時でも、悪い事？をする時でも、大人の目があるよ！と子供の見守りに繋がって良いのではないかと思います。

【学校の見解等】

授業参観においては、どの授業参観においても参観率が高く、保護者の皆様の関心の高さが窺えます。子ども達やクラスの様子を見ていただく機会を設定することで、学校評価における肯定的な評価の向上につながっていると考えています。

②学習面に関すること

<指導計画について>

- ・授業で使う工作用の電池、カップ麺の容器などはシグフィーでも何日の授業で使うのでそれまでに持っていくようにお知らせが欲しいです。前すぎて動画を見ないと必要な材料がわからないのも不便に思いました。必要な材料の一覧表をもらえたらわかりやすく、ありがたいです。できれば年間の表が欲しいです。学習計画でわかっているなら、何月にはラップ芯が必要とか、ペットボトルが必要とか教えて欲しいです。

【学校の見解等】

次年度は、年度当初に該当学年の年間指導計画を配付できるように検討してまいります。また、ご家庭に用意していただくものについても計画的に周知できるようにしてまいります。

<先生について>

・息子のクラスが授業中騒がしかったり宿題の提出率が低い等、クラスで落ち着いて過ごせずストレスになっている様子が時折見られたので、難しい学年だとは思いますが、しっかり指導をお願い出来ればと思います。(されているとは思いますが…)

・先生方は毎日、忙しく大変だと思いますが子供達からの質問に対して学年に応じた言葉掛けをお願いしたいです。

・お忙しい中難しいかもしれませんが、可能な範囲で、レクなど自由活動含めた指導内容、宿題などの学習内容がクラスごとで大幅にずれたりしないように、クラス関係なく学年全体で指導を共有していただけるとありがたいです。上の兄弟で感じましたが、こどもたちも他クラスの先生にも関わってもらえると喜ぶかと思います。今後ともよろしく願いいたします。

・新学年になると、いろいろな面で前（の学年）の先生はOKだったのに新学年の先生はダメと言われることがあり、一つ上の学年になることでそういうことも出てくるのは成長の証？として承知していますが、学習面で子どものやる気を削ぐようなNOは少し考えてほしいです。

・先生によって差があるような印象を受けます。人柄もあるかと思いますがどの先生になるかで運命の分かれ道とならないよう、この学校はどの先生でも良い意味で一緒と思えるような全体での統一感も欲しいかなと思います。

【学校の見解等】

本校は、学習面では一部の教科で「教科担任制」にて学習指導を行っています。また、生活面でも学級の垣根を越えて、指導・助言を行うよう努めています。また、放課後等には教職員個々の指導力向上を図るために、計画的に研修と修養に励んでいます。学年はもちろんのこと、全教職員で子どもたち全員に係わるというスタンスを重視し、さらに「チーム東」として取り組んでいきたいと思っています。

<教具の持ち帰り等について>

・絵の具、書道道具が学校で洗えないのは変ではないかと思う。洗い場の汚れの問題なら子供たちに掃除させれば良いし、下水の問題なら同地域の自宅で洗うのでどこで洗おうが関係ないはず。授業で使う度に持ち帰ることで『忘れ』が増え、ちゃんと持って行っている子が筆やパレットだけでなく絵の具や墨汁、半紙といった消耗品まで忘れた子に提供することになっている実態を考えて欲しい。

・毎学期、始業式に持たせる荷物が多すぎる。何故始業式当日に返却する必要のない図書の本をわざわざ荷物の多い初日に必須の持ち物にするのか理解できない。

【学校の見解等】

絵具の筆やパレット、書道の筆については、①人数に対して流しの数が限られていること（本校は特に流しが少ないです）②大人数で洗うことによって流し場の汚れが目立つこと、の観点から学校では洗うことができない状況ということをご理解いただけると幸いです。また、始業式等には必要最小限の荷物で済むように検討させていただきます。

<学習内容について>

・作物を育てたり下田の森で行なわれている実習の様なお子どもたちが自然に触れ合う機会がもう少しあったら嬉しいです。

・いつもお世話になっております。このままでも十分に子ども達をよく観て頂いていると思うのですが、本当に今以上これ以上ということであれば、良くする手段のひとつとしてBWF (<https://bwf.or.jp/>) のPX2というプログラムがあります。

このプログラムは、全国の小、中、高の学校や、スポーツチーム、市が主催となって導入などがされています。（ご興味のある先生がいらっしゃったら先ずは個人でも受講が可能です。）プログラムの実際の導入についての意見は特にありません。先生方でご検討頂ければと思います。

ただこのようなプログラムが、未来を創っていく子ども達のために教育機関等に取り入れられていることを知って頂ければ幸いです。以上です。ありがとうございました。

・レクや学校行事ばかりで学習時間が他校より劣っているのではないのでしょうか？

【学校の見解等】

貴重なご意見をありがとうございます。これからの学校教育は、教室内で完結する授業ではなく、様々な資源を活用して生きた学びにつなげることが重要です。また、本校は授業時数の適正管理にも努めています。本校は今年度も地域資源や地域人材を活用した授業を多く展開しました。今後も教育課程を編成していく際、地域資源や外部資源を組み合わせられるようカリキュラムマネジメントに努めてまいります。

③生活面に関すること

<校内清掃について>

・前の授業参観の時に音楽室でのグループワークを見学しましたが、なぜ子供たちは椅子があるのに地べたに座り、床でホワイトボードに文字を書き相談しているのか謎でした。椅子に座って膝の上にホワイトボードを置いて書くのはいけなないのでしょうか？授業参観で親は汚い床にほぼ這いつくばっている子供の姿を見て何とも言えない気持ちになったし、スカートの子は可哀想に思いました。床は埃も多く汚かったです。床に座らせるならせめて掃き掃除してからして下さい。

あとは、廊下が汚いと思います。埃も汚れも多く清掃に力を入れてもいいと思います。

・学校の時間編成の都合であると思うのですが、掃除の時間が以前より取れないこともあってか、校内のゴミが目立つと感じています。学校の掃除は日本の学校教育の良さであるとも思いますので、掃除指導も学校全体として大事にして欲しいと思います。

【学校の見解等】

貴重なご意見をありがとうございます。掃除については、多くのご意見をいただいています。一方、令和7年6月に改正給特法が成立し、その中で学校の働き方改革が今後も継続して取り組まれていくことを明記されています。その中で、学校と教師の業務の3分類が見直されています。清掃指導においては、「教師以外が積極的に参画する業務」に分類され、「地域住民の支援を得て、回数・範囲の合理化と促進」とされました。以上のことを踏まえた上で、校内環境美化の向上をするための方策について検討してまいります。

<放課後の校庭利用について>

・学校の校庭で遊べたら良いのにとずっと思っています

・何度も保護者から学校に要望が出ていると聞いている。「ルームの子がいるから」「怪我をした時に保険がおりないから」という理由だと耳にした。校庭開放を行っている近隣校でもルームの子はいるし、怪我をして学校保険がおりないのは公園で遊んでも変わらない。ルールの徹底やルール遵守の同意書などで対応できないか検討頂きたい。

【学校の見解等】

放課後の校庭開放については、ますます厳しい状況になることが予想されます。次年度より「柏市アフタースクール事業」が始まり、放課後は管理者のもと校庭等を使用するようになるためです。子どもたちの遊び場が十分ではない地域があることも承知しておりますが、ご理解の程よろしく願います。

④その他

・保護者への負担軽減でPTA活動を縮小したことに関しては色々思うところはあるが、その中でベルマーク回収がなくなったことは負担の面より疑問が残る。多くの保護者が『自分が子供の頃はベルマークを回収する仕事は児童がやっていた』と言っており、そもそもPTAの仕事だったことが不思議だった。PTA活動縮小で保護者の仕事からベルマーク回収をなくしたのであれば、児童に振れる活動なのではないだろうか。たとえば生活委員会の子供たちに役割分担をさせ、校内パトロール係とベルマーク係に分けて学期ごとローテーションするなど、やりようはいくらでもある。折角今まで集めてきて、回収用の備品もたくさんあるはずなのに勿体無いと思う。

・sigfyの柏レイソルや千葉ジェッツ等のチケットの案内が多すぎて、重要な案内を見落としてしまうことがあるので、重要な案内とそうでないものを分けてほしい。

・漢字や計算などの学習を自主性だけではなく、課題としてもう少し増やして出して欲しい(長期休みの時など。)

・県立中学受験用の報告書を依頼したのですが、受け取りが3学期の始業式で、中学への提出ギリギリの日程でした。個人的には冬休み中の受け取りになっても構わないので、あと数日も早く頂ければ気持ち的にも余裕が持てるので大変ありがたいな、と思います。

・小学校の不登校生徒は少ないとは思いますが、行き渋りや不登校の生徒を持つ親御さんが、学校開催の親の会などで交流を持ち、情報を共有したり悩みを聞き合う場を整えて頂けたら、親だけでなく、お子さんのサポートにもなると思います。

・昨年の1学期に行った授業参観日に行った時に、とても教室が暑くて暑くて、他の保護者の方も暑そうにしていたし、子供達も汗をかいていて、冷房がついてなくて見てるのが辛かったです。6月だったと思います。

途中から冷房をつけに別の先生が来てくれていましたが、この暑さで冷房つけないまま授業してたと思うと、熱中症が心配になりました。夏場はもう少し教室を涼しく授業のしやすい環境にして欲しいと思いました。

【学校の見解等】

学校での取り組みについて、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。これからも、保護者の皆様から寄せられました貴重なご意見をもとに、具体的に「子どもたちのために」できることを考えていきます。学校もご家庭も子どもたちの健やかな成長を願っていることは同じです。ご家庭と学校とが同一歩調で、手を携えていくことが重要です。

教職員一同、よりよい教育活動ができますように、酒井根東小の子どもたちと向き合って参ります。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。ご協力いただき、ありがとうございました。